＝　普　及　情　報　＝

Ｎｏ．２７

平成２９年１２月２８日
東部農林振興センター 雲南事務所 農業普及部

標題	飯南町の農業労働力補完対策について検討開始

（ダイジェスト）

飯南町施設園芸生産者の間では補完労働力の確保が難しいことが課題となっています。そのため、高齢化とともに規模縮小したり、新規就農者の規模拡大が思うようにいかない状況です。関係機関では状況を打破するために補完労働力対策として農業サポーター制度を創設できないか検討を開始し、アンケートを実施しました。

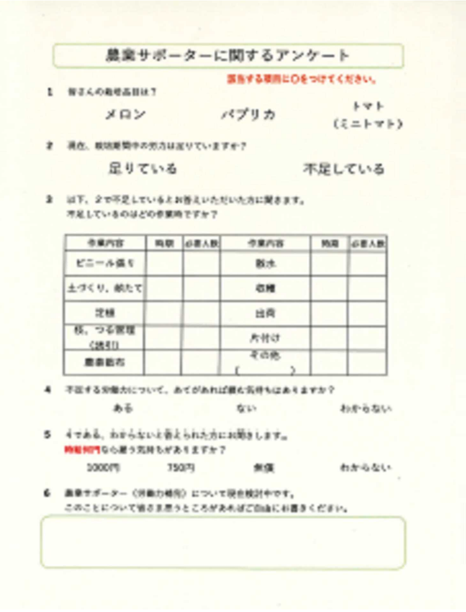
飯南町農業振興協議会特産部会において、高齢化でピーク時に作業が思うようにできず、やむを得ず規模縮小を行う生産者がいるとの意見が出ました。また、新規就農者がリースハウス団地制度を活用し規模拡大を図る際の課題もピーク時の補完労働力確保です。ピーク時以外は各自でなんとか回せる状況であることと、冬期は農作業を中断することから周年雇用は難しく、思うように人の確保ができない状況にあります。

各関係機関は解決策が必要と感じはじめたと同時期に、町が民間から補完労働力をビジネスとしたいと相談を受ける案件が発生しました。

そこで、飯南町でも農業サポーター制度を創設できないか検討を開始することとしました。就農支援チームで協議を行い、取り掛かりとしてサポーター制度に取り組んでいる安来市の事例を調査しました。その結果、いつ、どれだけ労働力が不足し、どのような条件なら依頼するか等アンケートにて状況確認することが必要であると認識しました。

今回、飯南町が力をいれているメロン、パプリカ、トマトの３品目について、12月19日に行われた出荷反省会時にアンケートを実施しました。現在集計中ですが、枝やつるの誘引、収穫作業時に補完労働力の要望が多いようです。

今後は集計結果をもとに、関係者で検討会を実施し、具体的な計画について協議し細かい作業に入る予定です。飯南町では先述の３品目について、今年度から共同選果施設が稼働し、この運営のためにも生産拡大が必須となっています。新規就農者の確保、担い手の規模拡大、その他生産者の経営維持の３本柱で取り組むこととしています。そのためにも関係機関一体となってこの課題の解決に向かいます。



農業サポーターに関するアンケート

メロン　パプリカ　トマト（ミニトマト）

足りている　不足している

作業内容	時期	必要人数	作業内容	時期	必要人数
ビニール張り			散水		
土づくり、畝たて			収穫		
定植			出荷		
枝、つる管理（誘引）			片付け		
農薬散布			その他（　　）		

ある　ない　わからない

750円　無償　わからない

（上）農業サポーターアンケート

（左写真）

就農支援チームでの会議

担当者	飯南地域振興課	石川勝宗	TEL0854-42-9571